

北海道大学大学院経済学研究科  
博士後期課程 入学試験

平成29年度 外国語科目 試験問題

試験期日：平成29年1月26日  
試験時間：9時00分～10時30分

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は、

英語	2～5 ページ
日本語	6～11 ページ

である。
3. 受験番号、氏名は、監督員の指示にしたがって指定された箇所に記入しなさい。
4. 解答する際には、解答用紙に問題番号・記号を必ず記入しなさい。
5. 解答用紙が不足した場合には挙手して監督員に連絡しなさい。
6. 試験場退出は試験開始30分が経過するまで認めない。

**外国語（英語）**  
**Foreign Language (English)**

問題Ⅰ，問題Ⅱのうち 1 問を選択して解答しなさい。

Answer one of the following two questions, Question I and Question II.

問題Ⅰ．下記の英文を和訳するか，あるいは 150 語程度の英語で要約しなさい。

Question I. Translate the following English into Japanese, or summarize it in English with about 150 words.

(引用文)

※著作権の関係上，本文は削除しています。

Daron Acemoglu & James A. Robinson, *Why Nations Fail: The origins of Power, Prosperity and Poverty*, Profile Books, 2013, pp. 429-430. (表現を一部改めた)

問題Ⅱ. 下記の英文を和訳するか, あるいは 150 語程度の英語で要約しなさい.

Question II. Translate the following English into Japanese, or summarize it in English with about 150 words.

(引用文)

※著作権の関係上, 本文は削除しています。



Frederick W. Taylor, *The Principles of Scientific Management*, Cosimo, 2006, pp. 2-4.

## 外国語（日本語）

問題Ⅰ，問題Ⅱの両方に解答しなさい。

問題Ⅰ．以下の文章を読み，すべての問いに答えなさい。

（引用文）

**※著作権の関係上，本文は削除しています。**



出典：橋本周子『美食家の誕生』名古屋大学出版会，  
2014年，11-13頁．（表現を一部改めた）

1. 「食べる」という行為に対する，日本とフランスの文化的共通点を，150字以内で述べなさい．
2. 下線部「事情は一変している」について，何という言葉をめぐる，いかなる変化が生じたのかを，150字以内で述べなさい．

問題Ⅱ．以下の文章を読み、すべての問いに答えなさい。

(引用文)

**※著作権の関係上、本文は削除しています。**

出典：沼上幹『経営戦略の思考法』日本経済新聞社，  
2009年，151-154頁。（表現を一部改めた）

1. カテゴリー適用法という思考法を，問題文で示された事例以外を用いながら，100字以内で説明しなさい.
2. 文章全体を400文字以内で要約しなさい.